

労務理論学会第2回大会記録

労務理論学会第2回大会は、1992年5月8日（金）～9日（土）の2日間にわたって、次のプログラム（統一論題「『国際化』と現代の労務問題」）により、名城大学天白11号館において開催された。大会参加者は72名、懇親会参加者は55名であった。

5月8日（金）

研究報告（会場：天白11号館第1会議室，10:00～12:00）

司会：島 弘（同志社大学）（報告各45分・質疑10分）

1. アメリカにおける職場の労使関係と労働組合運動

— '80年代後半以降の「日本化」論の再検討—

平尾 武久（札幌大学）

2. 「日本的経営」の国際移転について—フランス自動車産業における事例（生産・労務管理方式の導入）を中心に—

林 正樹（中央大学）

（昼食・休憩：12:00～13:00）

研究報告（会場：天白11号館第1会議室，13:00～16:00）

司会：渡辺 貞雄（札幌学院大学）（報告各45分・質疑10分）

3. 「日本的労使関係」とポスト・フォーディズム論—レギュレーション・アプローチを中心に—

黒田 兼一（桃山学院大学）

4. 「1920年代」アメリカ労務管理の構造—AT&T（アメリカ電信電話会社）を事例として—

松田 裕之（松商学園短大）

5. 外国人労働者問題の本質—経済問題と人権問題のはざま—

斐 富吉（東京農大）

（休憩：16:00～16:20）

会員総会（会場：天白11号館第1会議室，16:20～17:50）

（休憩：17:50～18:00）

懇親会（会場：第1食堂，18:00～20:00）

5月9日（土）

研究報告（会場：天白11号館第1会議室，10:00～12:00）

司会：相沢 与一（福島大学）（報告各45分・質疑10分）

6. 「国際化」と労務管理—自動車産業を事例として—

猿田 正機（中京大学）

7. 日本的経営と過労死

川人 博（弁護士）

（昼食・休憩：12:00～13:00）

シンポジウム（会場：天白11号館第1会議室，13:00～16:00）

司会：長谷川 廣（中央大学）

統一論題「『国際化』と現代の労務問題」の報告者全員に対する質問および討議。

（今井齊記）